【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成28年2月18日(2016.2.18)

【公表番号】特表2015-509263(P2015-509263A)
【公表日】平成27年3月26日(2015.3.26)
【年通号数】公開・登録公報2015-020
【出願番号】特願2014-549620(P2014-549620)
【国際特許分類】
Ｆ２１Ｓ　8/00　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　33/00　(2010.01)
Ｆ２１Ｓ　2/00　(2016.01)
Ｆ２１Ｙ　115/10　(2016.01)
【ＦＩ】
Ｆ２１Ｓ　8/00　２００
Ｈ０１Ｌ　33/00　Ｈ
Ｆ２１Ｓ　2/00　６３１
Ｆ２１Ｓ　8/00　１００
Ｆ２１Ｙ　101:02

【手続補正書】
【提出日】平成27年12月24日(2015.12.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
取付側と、不透明発光構造要素が構造において使用される際に使用者に面する、使用者対向側とを有する構造要素と、
前記構造要素に埋め込まれた発光素子と
を含む不透明発光構造要素であって、
前記発光素子がオフ状態において不可視であり、前記発光素子がオン状態にある際に前記発光素子からの光が前記構造要素から出るように、前記発光素子は前記構造要素に埋め込まれており、
前記構造要素は、
使用者対向側と複数の空洞を有する取付側とを持つ上部層と、
発光素子それぞれが前記上部層の前記空洞の各１つに配置された複数の発光素子を含むキャリアと
を有し、
前記上部層は山及び谷を有する粗面を持ち、前記上部層内の前記空洞は前記上部層を貫通しており、前記発光素子は、前記上部層の表面から突出している、不透明発光構造要素。
【請求項２】
前記発光素子の、前記表面から突出した部分の色及び質感は、前記表面の見た目に一致する、請求項１に記載の不透明発光構造要素。
【請求項３】
前記粗面の前記山は、前記突出している発光素子の上方に延びる、請求項１又は２に記載の不透明発光構造要素。

【請求項４】
前記空洞は、前記発光素子より大きい、請求項１に記載の不透明発光構造要素。
【請求項５】
前記発光素子周囲及び前記キャリアと前記上部層との間のスペースは、シリコーン又はエポキシによって充填される、請求項４に記載の不透明発光構造要素。
【請求項６】
前記キャリアは、ネットの形態で提供される、請求項１に記載の不透明発光構造要素。
【請求項７】
前記構造要素材料は、石、セラミックス、コンクリート、斑岩及び大理石から成る群から選択される、請求項１に記載の不透明発光構造要素。
【請求項８】
前記発光素子は、光ガイドの光出力領域である、請求項１乃至７の何れか一項に記載の不透明発光構造要素。
【請求項９】
キャリア上に配置された複数の発光素子を有する当該キャリアを設けるステップと、
前記少なくとも１つの発光素子がオフ状態において不可視であり、前記少なくとも１つの発光素子がオン状態にある際に前記少なくとも１つの発光素子からの光が構造要素から出るように、前記少なくとも１つの発光素子が構造要素材料に埋め込まれるように、前記キャリア上に配置される前記構造要素材料の層を設けるステップと
を含み、
構造要素材料の層は、使用者対向側と複数の空洞を有する取付側とを有し、前記複数の発光素子それぞれが前記構造要素材料の層の前記空洞の各１つに配置され、前記構造要素材料の層は山及び谷を有する粗面を持ち、前記構造要素材料の層内の前記空洞は前記構造要素材料の層を貫通しており、前記発光素子は、前記構造要素材料の層の表面から突出している、不透明発光構造要素を製造するための方法。
【請求項１０】
前記キャリア及び構造要素材料の層を支持層上に配置するステップを更に含む、請求項９に記載の不透明発光構造要素を製造するための方法。